

記入例

記入日を
記入してください

20XX年4月X日

指導教員届

大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

ご自身が入学した分野を
正確に記入してください

○○○○○○○ 課程

現代システム科学専攻

○○○○○○○○○学 分野

入学年度： 20XX 年度入学

学籍番号： BAA (DAA) XXXXX

ご自身の学生証やポータル
情報を見ながら、正確に記入
してください

名前： ○○ ○○

研究課題	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
備考	
指導教員	印

研究課題欄を記入後は、希望する指導教員欄に指導教員の名前(署名)・捺印をもらって提出してください。

※この「指導教員届」は大学院博士前期課程・博士後期課程入学時の
春入学： 4月20日（土日祝の場合は翌日）までに、
秋入学： 10月15日（土日祝の場合は翌日）までに、
教育推進課教務グループ（A3棟2階）へ提出すること。

記入例

研究指導計画書

ご自身の学生証やポータル情報を見ながら、正確に記入し、「課程」選択してください

記入日を記入してください

現代システム科学研究科

20XX年4月X日作成

学籍番号	BAA (DAA) XXXXX	名前 (フリガナ)	〇〇 〇〇 (XXXXX XXX)
専攻分野	現代システム科学専攻 〇〇〇〇〇〇〇学 分野	入学年月	20XX年4月入学
		課程 (該当課程を選択)	博士前期・博士後期
指導教員名	△△ △△	副指導教員名 (指導教員記入欄。)	
研究題目	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
研究計画 (学生が記入)	<p>1年次4月～7月：研究計画の立案 指導教員と相談し、決定した研究課題に関して先行研究を整理し研究計画を立案する。</p> <p>1年次7月～2年次1月：研究の遂行 研究計画に従って研究を遂行する。 1年次では、主に予備的な実験や調査を行い研究方法の確立を図る。 2年次では、確立した研究方法によりデータ収集・解析等を進め、その成果を修士論文としてまとめる。</p> <p>2年次9月：研究成果の中間発表 ここまでの成果と今後の予定について、専攻内の発表会で報告する。</p> <p>2年次10月～1月：修士論文の作成 これまでの研究成果をもとに修士論文の作成を開始し、指導教員のもとで修士論文をまとめる。</p> <p>2年次1～2月：修士論文の提出・発表 修士論文を指定する期日までに提出し、公開の発表会で論文の内容を発表する。</p>		
研究指導計画 (指導教員が記入)	<p>学生は空欄で指導教員に提出。</p>		

指導教員届に提出した内容を記入。

学生は空欄で指導教員に提出。

学生は空欄で指導教員に提出。

※この「研究指導計画書」は大学院入学時の春入学：5月1日（土日祝の場合は翌平日）まで、秋入学：10月25日（土日祝の場合は翌平日）までに、指導教員に提出すること。

記入例

修士論文題目を忘れないように、メール提出の送信履歴は保管してください。提出後の個別の題目問い合わせには対応いたしかねますので、ご注意ください。

修士論文題目届

大阪公立大学大学院

現代システム科学研究科

記入日を
記入してください

20××年 ○月○日

以下の通り、本年度提出予定の修士論文の題目を提出します。

20××年度入学 現代システム科学専攻 ○○○○学分野

学籍番号 BAAXXXXX

名前 ○○ ○○

ご自身の学生証やポータル
情報を見ながら、正確に記入
してください

題目

題目欄を記入後は、指導教員名を記入し、大学のOMUメールアドレスにWordファイルを添付して、指導教員へメール送信で提出してください。メールタイトルや文面に題目提出であることがわかるように記載してください。

指導教員 名前

※本届は学生から指導教員に大学のOMUメールアドレスでメール提出すること。

■教員記入欄

審査委員候補者一覧（指導教員が以下を記入の上、分野主任に提出すること。）

主査		副査	
副査		副査	
副査		副査	

学位授与申請書

記入日を
記入してください

20XX年 2月 X日

大阪公立大学長 様

現代システム科学研究科

現代システム科学専攻

○○○○学分野

名 前 ○○ ○○

大阪公立大学学位規程第5条第1項の規定により、

修士（ ）の学位の授与を申請します。

ご自身が入学した研究科・専攻・分野で授与する学位を履修要項で確認して、
下記の(注意)欄に記載されたものから選択して記入してください

(注意)

1. 学位は（環境学・言語文化学・人間科学・社会福祉学・学術）より選択すること。
2. この申請書は、1通提出すること。

記入例

修士論文提出用ファイル貼付題目用紙

修士論文を紙媒体で提出する場合は、下のものに必要事項を記入し、外枠の点線で切り抜き、提出するすべての修士論文のファイル表紙に貼付すること。
また、ファイルの背表紙に題目、分野、名前を書くこと。

赤の点線くらいの大きさに切って、
ファイルの表面に貼り付ける

論文題目	○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
所属	博士前期課程	現代システム科学研究科	現代システム科学専攻
		()	分野
学籍番号			
名前			
提出日	年	月	日

ご自身の学生証やポータル情報を見ながら、正確に記入してください

記入例

記入日を
記入してください

20XX年4月X日

指導教員届

大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

ご自身が入学した分野を
正確に記入してください

○○○○○○○ 課程

現代システム科学専攻

○○○○○○○○○学 分野

入学年度： 20XX 年度入学

学籍番号： BAA (DAA) XXXXX

ご自身の学生証やポータル
情報を見ながら、正確に記入
してください

名前： ○○ ○○

研究課題	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
備考	
指導教員	印

研究課題欄を記入後は、希望する指導教員欄に指導教員の名前(署名)・捺印をもらって提出してください。

※この「指導教員届」は大学院博士前期課程・博士後期課程入学時の
春入学： 4月20日（土日祝の場合は翌日）までに、
秋入学： 10月15日（土日祝の場合は翌日）までに、
教育推進課教務グループ（A3棟2階）へ提出すること。

記入例

研究指導計画書

ご自身の学生証やポータル情報を見ながら、正確に記入し、「課程」選択してください

記入日を記入してください

現代システム科学研究科

20XX年4月X日作成

学籍番号	BAA (DAA) XXXXX	名前 (フリガナ)	〇〇 〇〇 (XXXXX XXX)
専攻分野	現代システム科学専攻 〇〇〇〇〇〇〇学 分野	入学年月	20XX年4月入学
		課程 (該当課程を選択)	博士前期・博士後期
指導教員名	△△ △△	副指導教員名 (指導教員記入欄。)	
研究題目	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
研究計画 (学生が記入)	<p>1年次4月～7月：研究計画の立案 指導教員と相談し、決定した研究課題に関して先行研究を整理し研究計画を立案する。</p> <p>1年次7月～2年次1月：研究の遂行 研究計画に従って研究を遂行する。 1年次では、主に予備的な実験や調査を行い研究方法の確立を図る。 2年次では、確立した研究方法によりデータ収集・解析等を進め、その成果を修士論文としてまとめる。</p> <p>2年次9月：研究成果の中間発表 ここまでの成果と今後の予定について、専攻内の発表会で報告する。</p> <p>2年次10月～1月：修士論文の作成 これまでの研究成果をもとに修士論文の作成を開始し、指導教員のもとで修士論文をまとめる。</p> <p>2年次1～2月：修士論文の提出・発表 修士論文を指定する期日までに提出し、公開の発表会で論文の内容を発表する。</p>		
研究指導計画 (指導教員が記入)	<p>学生は空欄で指導教員に提出。</p>		

指導教員届に提出した内容を記入。

学生は空欄で指導教員に提出。

学生は空欄で指導教員に提出。

※この「研究指導計画書」は大学院入学時の春入学：5月1日（土日祝の場合は翌平日）まで、秋入学：10月25日（土日祝の場合は翌平日）までに、指導教員に提出すること。

所属学会 (加入時期)	○○○○○○○○
発表論文 (論文タイトル、 掲載雑誌名、発行 機関 発行年、掲載ペー ジ 数、査読の有無等 を記入)	○○○○○○○○
口頭発表 (時期、場所、どの 学会の第何回大会 等)	○○○○○○○○

学位論文予備審査申請書

記入日を
記載してください

20XX 年 12 月 × 日

現代システム科学研究科 現代システム科学専攻 ○○学分野主任 様

専攻 現代システム科学専攻
分野
名前

名前は、日本語と英語が必要です。

Name

学位論文予備審査を申請します。

論文題目
○○○○○○論文題目は、日本語と英語が必要です。
指導教員と相談して、作成してください。Dissertation Title:
○○○○○○

指導教員の署名と捺印が必要です。

指導教授の署名と印

印

注 意

- 1 この申請書は、2通提出すること。
- 2 論文は、6通提出すること。
- 3 論文要旨は、4,000字以内とし、6通提出すること。
(論文要旨には初出一覧を添付すること。)
- 4 名前と論文題目は日本語と英語を併記すること。ただし、日本人申請者の場合、
名前はローマ字表記可。
※日本語・英語以外の外国語が題目の場合は、日本語と英語の併記が必要。

記入例

様式第1号その1

学位授与申請書

年 月 日

大阪公立大学長 様

大学院 現代システム科学研究科
現代システム科学専攻 ○○学分野

名前 ○○ ○○

Name ○○ ○○

名前は、日本語と英語が必要です。

大阪公立大学学位規程第5条第2項の規定により

博士（ **環境学** ）の学位の授与を申請します。

論文題目

ご自身が入学した分野で授与する学位を研究科要覧で確認して、授与される学位を下記「注意1」記載の学位名称から選択し、記入してください

Dissertation Title :

注 意

- 1 学位は（環境学・言語文化学・人間科学・社会福祉学・学術）より選択すること。
- 2 この申請書は、2通提出すること。
- 3 学位論文は、6通（正本3通および副本3通）提出すること。
- 4 学位論文要旨は、A4判で4,000字以内とし、6通提出すること。
（学位論文要旨には初出一覧を添付すること。）
- 5 名前と論文題目は日本語と英語を併記すること。ただし、日本人申請者の場合、名前はローマ字表記可。申請書類の表記で学位記（日文/英文）等を作成するため、よく確認の上、提出すること。（日本語・英語以外の外国語が題目の場合は、日本語と英語の併記が必要。）

(A4)

2022.4 制定

記入例

様式第1号その2

学位授与申請書

記入日を
記入してください

20XX 年 2 月 X 日

大阪公立大学長 様

大学院 現代システム科学研究科
現代システム科学専攻 ○○学分野

名前 ○○ ○○

Name ○○ ○○

名前は、日本語と英語が必要です。

大阪公立大学学位規程第5条第3項の規定により

博士（**環境学**）の学位の授与を申請します。

論文題目

ご自身が入学した分野で授与する学位を研究科要覧で確認して、授与される学位を下記「注意1」記載の学位名称から選択し、記入してください

Dissertation Title :

注意

- 1 学位は（環境学・言語文化学・人間科学・社会福祉学・学術）より選択すること。
- 2 この申請書は、2通提出すること。
- 3 学位論文は、6通（正本3通および副本3通）提出すること。
- 4 学位論文要旨は、A4判で4,000字以内とし、6通提出すること。
（学位論文要旨には初出一覧を添付すること。）
- 5 単位修得証明書は、2通提出すること。
- 6 履歴書（様式第3号）は、2通提出すること。
- 7 名前と論文題目は日本語と英語を併記すること。ただし、日本人申請者の場合、名前はローマ字表記可。申請書類の表記で学位記（日文/英文）等を作成するため、よく確認の上、提出すること。（日本語・英語以外の外国語が題目の場合は、日本語と英語の併記が必要。）

(A4)

記入例

様式第3号

履 歴 書		
フリガナ 名 前	マルマル マルマル ○○ ○○	男 ・ ○女
生年月日	○○○○ 年 ○ 月 ○ 日生 (満 ○○ 歳)	本籍(国籍) 都 道 府 県 大阪 ○府
フリガナ 住 所	〒 000 - 0000 マルマルマルマルマルマルマルマルマルマル ○○○○○○○○○○○○1番1号	電話番号 00-0000-0000 携帯電話 000-000-0000
メール アドレス	xxxxxxxxxx@xxxxxxxx.xx.xx	
年 月 日	学 歴	
0000年3月31日	○○○ 立 ○○○ 高等学校卒業	
0000年4月1日	○○大学○○○学部○○学科入学	
0000年3月31日	○○大学○○○学部○○学科卒業	
0000年4月1日	大阪公立大学大学院○○○学研究科 ○○○専攻 博士前期課程 入学	
0000年3月31日	大阪公立大学大学院○○○学研究科 ○○○専攻 博士前期課程 修了	
0000年4月1日	大阪公立大学大学院○○○学研究科 ○○○専攻 博士後期課程 入学	
0000年3月31日	大阪公立大学大学院○○○学研究科 ○○○専攻 博士後期課程 修了見込	
年 月 日	職 歴	
0000年4月1日	○○○会社 入社	
0000年3月31日	○○○会社 退職	
0000年4月1日	○○法人 ○○大学 入職 (○○学部担当)	
0000年×月×日	○○法人 ○○大学 ○○研究科担当着任 現在に至る	

**ご自身が入学した学部
 や研究科・専攻は改組し
 ても、変更はありません。
 成績証明書や修了証、
 研究科改組情報を見ながら、
 正確に記入してください**

**なければ、「なし」を記入
 「別紙に記入」で別添可**

論文目録

記入日を
記入してください

20XX年1月X日

大阪公立大学長 様

名前 ○○ ○○

学位論文

1 題目

○○○○○○

学位授与申請書と一致させてください。

2 印刷公表の方法及び時期

○○学会誌に掲載、20XX年1月頃

3 冊数

1 冊

提出する学位論文
1組の中の数

★要約公開の場合の一例
・掲載する掲載誌(電子ジャーナル含む)や書籍を記載の上、目途がわかるように、記入してください。

★全文公開の場合
・「大阪公立大学学術情報リポジトリ」に公開、学位授与後1年以内」を記入してください。

参考論文 (あり なし)

1 題目

2 印刷公表の方法及び時期

3 冊数

参考論文があれば、「あり」に○をして記入
ない場合は、「なし」に○を記入

注 意

- 1 この目録は、6通(正本3通および副本3通)提出すること。
- 2 学位論文の題目が外国語の場合は、訳文を付記すること。
- 3 参考論文が2種類以上あるときは、列記すること。
- 4 学位論文が印刷公表されていない場合は、その予定を記載すること。
- 5 冊数とは、提出する論文の一組の内での冊数のことである。

(A4)

記入例

(様式)

2024年 2月 1日

大阪公立大学大学院現代システム科学研究科長様

現代システム科学研究科現代システム科学専攻
博士後期課程 ○○分野
学籍番号 ○○○○
名前 ○○ ○○

単位修得退学に伴う学位授与申請資格認定願

私は下記の通り、単位修得退学を予定しておりますが、大阪公立大学大学院学則第 36 条第 2 項の規定にもとづき、退学後 1 年以内の博士論文審査終了に向けて、学位授与申請論文を作成中です。つきましては、退学に際して、貴研究科の課程博士学位授与申請資格を認めていただきま

すよう、お願い申し上げます。

単位数は、UNIPA「成績照会」
を確認して記入すること。

1. 退学予定年月日	2025年 3月 31日
2. 単位修得状況	現代システム科学専攻○○分野の必修9単位を修得
3. 学籍の状況 (当該期末時点)	2021年4月入学 ・ 在学期間 3年 ・ 休学期間 0年 長期履修期間 (有(無)、有の場合:許可年数 年
4. 学位授与申請予定の 論文題目	「○○○○○○○○」
論文作成の進捗状況	2025年○月頃完成予定、2026年2月10日(同年3月学位記授与式で学位授与される場合の提出期限)までに提出できる見込みです。
5. 指導教員の所見	...(例) 上記学生の研究成果を見ると、本研究科現代システム科学専攻の定める「学位授与審査申請要件」はすでに充足しており、また現在の論文作成の進捗ぶりから考えて、単位修得退学後1年以内に学位授与審査終了となるよう、学位授与審査の申請ができる見込みです。 指導教員名前 ○○ ○○ 印
6. 学位授与申請資格 取得状況	現代システム科学研究科学位論文審査実施要項「第1 学位授与申請資格」(1)②③に定める研究指導計画書、研究報告書の提出年月
①研究指導計画書の提出年月	2022年4月提出
②研究報告書の提出年月	2023年6月、2024年6月提出(提出年をすべて書く。休学中に提出した場合も書く。)